

英語科学習指導案

学校研究主題:	自ら学ぶ意欲を持ち、共に支え、共に高め合う生徒の育成 ～確かな学力の育成を目指して～(3年目の研究)
英語科研究主題:	コミュニケーション・スピーチを通して自己表現力を高め、 身につけた英語力を活用した対話力の育成を図る

展開学級: 1年C組

展開場所: 1年C組教室

授業者: 辻 亘

授業展開: 14:00～14:50 (4階 1年C組教室)

研究協議: 15:10～16:30 (特別棟2階 図書室)

千葉市立幕張本郷中学校

英語科学習指導案

日 時 平成28年10月18日(火)5校時
展開学級 1年C組
展開場所 1年C組教室
授業者 辻 亘

1. 研究主題

コミュニケーション・スピーチを通して自己表現力を高め、身につけた英語力を活用した対話力の育成を図る。

2. 研究仮説

(1) 話す・書く能力を身につけさせる指導において

自分の意見や考えを、既習の英語を用いて表現方法を工夫しながら相手に伝えるための活動を積み重ねれば、表現力に対する成就感を味わうことができるであろう。(自分を理解してもらうための能力育成)

(2) 聞く・読む能力を身につけさせる活動において

相手の考えや意見を、聞き手・読み手として辛抱強く理解しようと努力するための活動を積み重ねれば、理解できた喜びを味わうことができるであろう。(相手を理解しようとする能力育成)

3. 研究計画

月	内容
4	研究計画、年間指導計画作成
5	英語主任研修会
6	研究の実践
7	英語発表会出場生徒選抜・指導 評価方法についての検討
9	千葉県英語発表会参加、市教研指導案検討
10	市教研授業
11	研究の実践
12	研究の実践
1	研究紀要原稿作成
2	研究実践のまとめ
3	次年度の研究内容の検討

1. 単元の目標

- ① Whose ...? で持ち主をたずねたり、mine などを持ち主を説明したりする会話をするができるようになる。
- ② Whose ...? で持ち主をたずねたり、mine などを持ち主を説明したりする表現の知識を身につける。

本単元の本文は、登場人物が鞆の持ち主をたずねたり、答えたりする内容である。言語材料としては、本文に *whose, mine, yours, Paul's* が出てくる。本時は、持ち主をたずねたり、答えたりする会話に焦点を当て、《whose + 名詞》を使った疑問文と、その答えとして、*mine, yours*, 名詞が後続しない《人名 + 's》を含む文を使えるようにすることを目標とした。*his, hers, theirs* などについては、持ち主を尋ねるやりとりのなかでは使われにくいいため、本単元では扱わず、*mine, yours*, 《人名 + 's》の定着に重点を当てた。単に代名詞の格変化を覚えるだけでなく、会話を通して、意味やそれを使う場面を意識しながら、実際に使えるようになることを目指す。

2. 生徒の実態

学級は全体的に明るく、授業中の反応も良い。声を出したり、挙手して発言したりし、積極的に参加している。話す活動などにも興味を持って取り組んでいる様子がみられる。英語の運用力の面では、定着が速い生徒と遅い生徒の差が大きいため、段階を踏んだ丁寧な指導が必要である。

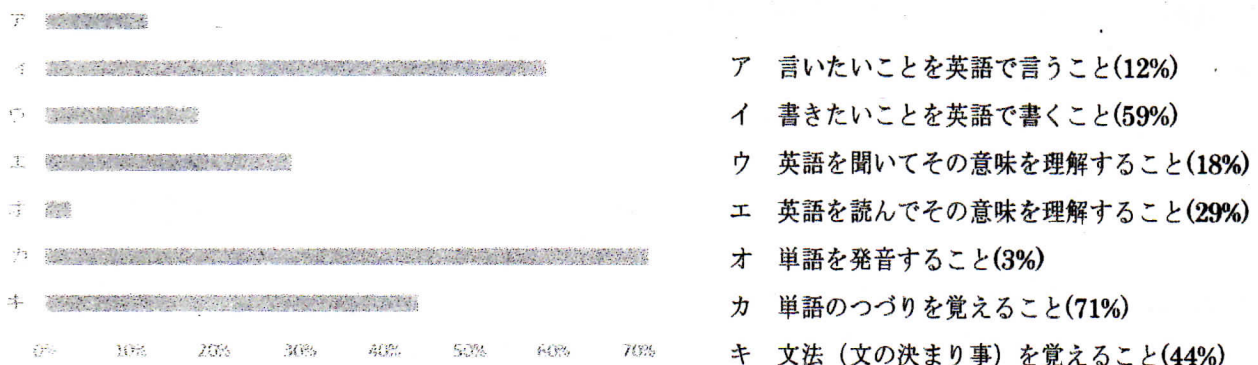
事前調査として、空欄補充の問題で“*What is this?*”と“*What animal is that?*”を書かせる問題を出題したところ、正当率は以下の通りであった。

◇ *What is this?* (これは何ですか) ----- 94.0%

◇ *What animal is that?* (あれは何の動物ですか) ----- 79.4%

疑問詞が単独で使われる疑問文に比べ、疑問詞の後に名詞が後続する疑問文の方が定着していないことが分かる。そこで今回の授業では、《whose + 名詞》で始まる疑問文を定着させることを重視した。

また、英語を学習する上で特に難しいものについて、「話すこと」「聞くこと」「書くこと」「読むこと」「単語の発音」「単語のつづり」「文法」の7つの中から選ばせたところ以下のような結果が得られた。



※特に難しいと感じるものを、最大で3つまで選択可とした。

グラフから分かる通り、多くの生徒が単語のつづりを覚えることと、英語で文を書くことに難しさを感じている。そのため、本時の授業では、音声での導入を重視しつつも、単語のつづりを覚える練習や書く練習をできるだけ入れるようにした。

3. 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
間違ふことを恐れず持ち主をたずねたり、持ち主を説明したりする会話に取り組んでいる。	Whose ...? で持ち主をたずねたり、mineなどで持ち主を説明したりする会話をするができる。	/	Whose ...? で持ち主をたずねたり、mineなどで持ち主を説明したりする表現の知識を身につけている。

4. 指導計画（2時間）

時	授業のねらい	学習活動	評価基準と評価方法
1 本時	Whose ...? で持ち主をたずねたり、mineなどで持ち主を説明したりする会話をするができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師とのやりとりを通して、Whose ...? で持ち主をたずねたり、mineなどで持ち主を説明したりする会話をする。 ・絵を見て、持ち主をたずねたり説明したりする文を書く。 	ア 観察 イ 観察
2	Whose ...? で持ち主をたずねたり、mineなどで持ち主を説明したりする会話文を音読できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文の口頭導入やCDのリスニングを通し、意味を理解する。 ・教科書本文をペアで音読練習する。 ・本文に出てくる語句を学習する。 	エ ペーパーテスト（後日）

5. 本時の指導

（1）本時の目標

- ①Whose ...? で持ち主をたずねたり、mineなどで持ち主を説明したりする会話をするができるようになる。
- ②Whose ...? で持ち主をたずねたり、mineなどで持ち主を説明したりする表現の知識を身につける。

（2）本時の展開

学習過程 時配	学習内容、活動	留意点	教材・教具 ☆評価
挨拶 (1分)	○英語で挨拶をする。	・英語での授業の雰囲気を作る。	
復習 (1分)	○複数形の復習 画面に映し出された絵を見ながら単数形と複数形を英語で言う。		・iPad ・大型テレビ
口頭導入① (5分)	○mine, yoursの導入 指定された一列の生徒が、自分のペンを教卓に持って行き、教師に預ける。 教師に質問された生徒は以下のやりとりをする。 T: This is not my pen. This is not mine. Is this	・やりとりを通して、生徒が mine, yoursの意味を理解できるようにする。	

	<p>your pen? S: No. T: No? This is not yours? OK. This is not yours. (他のペンを指し) Is this yours? S: Yes. T: Oh, this is yours! OK. (生徒のペンを指し) This is yours. (自分のペンを指し) This is mine. S: That is mine. That is yours. 指定された列の生徒は順次、同様のやりとりを行う。</p>		
<p>口頭導入② (5分)</p>	<p>Whose, [誰々]'s の導入 T: Is this yours? S: No. T: Everyone. This is not mine. This is not S1's. Whose pen is this? S: S2! T: Ah, this is S2's! This is S2's. This is S1's. This is mine. Ss: That is S2's. That is S1's. That is yours.</p>	<p>・会話のやりとりの中で、whose と[誰々]'s を導入し、その意味を理解させる。</p>	
<p>説明 (2分)</p>	<p>mine, yours, [誰々]'s の説明 大型テレビの画面上で、mine, yours, [誰々]'s の使い方の確認をする。 本時の目標を確認する。</p>	<p>・できるだけ簡潔に要点を整理する。</p>	<p>・iPad ・大型テレビ</p>
<p>持ち主をたずねたり答えたりすることができるようになる</p>			
<p>展開① (10分)</p>	<p>○持ち主のたずね方・答え方 持ち主をたずねたり答えたりするときに使われる表現を確認する。 Q. Whose <input type="text"/> is that? A. It is <input type="text"/>.</p> <p>○持ち主を尋ねたり答えたりする会話の練習 画面上の絵や写真を見て、持ち主を当てるなかで、[誰々]'s や yours を使った文を言う練習をする。</p>	<p>・持ち主のたずね方と答え方を確認させる。 ・持ち主を推測して答えさせるなかで、持ち主をたずねたり答えたりする会話を練習させる。</p>	<p>・iPad ・大型テレビ ☆Whose ...? で持ち主をたずねたり、mine などで持ち主を説明したりする会話ができているか。</p>
<p>展開②</p>	<p>○綴りの確認 画面上で mine, yours, whose, [誰々]'s の綴</p>	<p>・綴りと発音の関係</p>	<p>・ワークシート</p>

(8分)	り方を確認し、ワークシートで綴り方を練習する。	に注意を向けさせる。	
展開③ (15分)	<p>○書く練習 ワークシートで mine, yours, whose, [誰々]'s を使った文を書く練習をする。早く終わった生徒は、持ち主を尋ねる会話文を自分で作って書く。 一斉に答え合わせをしたあと、指名された生徒は自分で作った会話文を発表する。</p>	・机間指導をしながら、文を書かせる。	・ワークシート ☆Whose ...? で持ち主をたずねたり、mineなどで持ち主を説明したりする表現の知識を身につけているか。
まとめ (3分)	<p>○学習事項のまとめ 本時に学習した事項を口頭で確認する。</p>	・本時の学習内容を振り返らせる。	
挨拶 (1分)	<p>○終わりの挨拶 英語係が号令を掛け、挨拶をする。</p>		

(3) 評価

- ①Whose ...? で持ち主をたずねたり、mineなどで持ち主を説明したりする会話をする事ができるか。
- ②Whose ...? で持ち主をたずねたり、mineなどで持ち主を説明したりする表現の知識を身につけているか。